

「3級造園技能検定」練習風景 ～ものづくりマイスター制度活用～

令和2年12月5日（土）燕市において3級造園技能検定（実技試験）が行われます。本校からは地域環境デザイン専攻2年生20人（男子13人、女子7人）が受験します。

この資格は国家資格であり、取得すると造園に関する作業にプロとして携わることができます。そのため地域環境デザイン専攻2年生は、全員合格を目指し日々練習に取り組んでいます。

本校では、ものづくりの未来を担う人材の育成・確保と技能の向上を図るため、国や県が認定したものづくりマイスター等に来校していただき高度な実技指導を行っていただいています。講師は、本校卒業生でもある遠藤庭園創作所会長 遠藤太一様です。

生徒は、卓越した熟練技能者から教えを請い、合格に向けて一生懸命に課題に取り組んでいます。全員が合格できるように、皆様からも応援していただけたら幸いです。

将来の技術者を目指して、真剣に取り組みました。



【説明を真剣に聴く生徒】



初めての造園技能士の課題に緊張しながら、技術向上および合格を目指しています。



【熱心な実技指導】



【課題 完成形】